

茅ヶ崎市低炭素まちづくり計画

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト
平成28年度の実施状況報告

平成30年3月
茅ヶ崎市都市部都市計画課

低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト①

将来像

1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！

①自転車走行空間整備 モデルプロジェクト

■概要

自転車が利用しやすい環境を整え、自動車から自転車利用への転換を促し、CO₂排出量の削減を図る。



ネットワークを意識した、自転車レーンの設置、通行区分の明示等の取組の推進。



■平成28年度の主な実施状況

- ・左富士通りに自転車走行空間を設置
(浜見平北口交差点～浜見平交番前交差点〔約420m〕)

➡ 幹線道路における自転車の走行環境が向上。



・レンタサイクル事業の実施

※茅ヶ崎駅構内観光案内所にて受付

➡ 来街者が自転車を利用しやすい環境を整備。

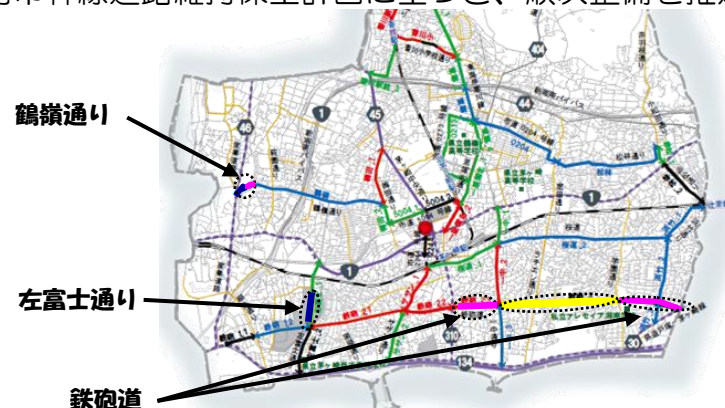


■課題

- 幹線道路以外の路線についての整備の検討
- 逆走禁止等、走行方法について周知の徹底

■今後の取組予定

- 茅ヶ崎市幹線道路維持保全計画に基づき、順次整備を推進



資料：茅ヶ崎市幹線道路維持保全計画
(自転車ネットワーク計画)

整備状況 <凡例> 過年度完了済 平成28年度完了済 平成29～32年度予定

整備優先順位 <凡例> 短期 中期 長期

※凡例 「・」：実施した内容 「➡」：実施したことによる成果

低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト②

将来像

1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！

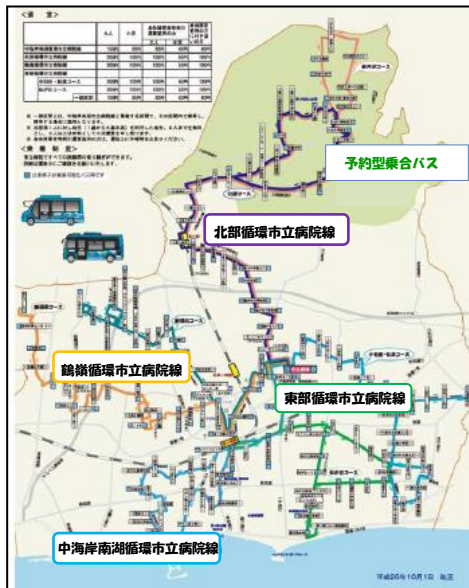
②コミュニティバスのサービス充実 プロジェクト

■概要

コミュニティバスの利用環境の充実により、移動手段の確保、地域活動の活性化を図るとともに、日常的な自動車への依存を抑制し、CO₂排出量の削減を図る。



コミュニティバスの利用しやすさ向上の検討による運行改善の推進



■平成28年度の主な実施状況

・コミュニティバス車両の一部大型化（同車種ロングタイプの導入）

➡ 椅子を必要とする高齢者や障害者等が座れない状態が改善。

※ 中海岸南湖循環市立病院線〔1台〕

座席数：15席 → 18席

定員：25人 → 33人



※凡例 「・」：実施した内容 「➡」：実施したことによる成果

・コミュニティバス北部循環市立病院線のダイヤ改正を実施

➡ 7時文教大学発を新設及び19時30分市立病院発を廃止し、地域の需要に対応。

（※旧19時30分発利用者 1日平均約1.4人 7時発利用者 1日平均約4名）

・予約型乗合バス利用者登録の出張説明・登録会を実施

➡ 小出地区内での地域住民の会議等にて説明をし、登録者数が増加。（※2回実施。登録者数：15名）

・茅ヶ崎駅自由通路南側にバス運行情報等表示機（デジタルサイネージ）の設置

➡ 駅を利用するバス利用者の利便性が向上。（※3月実施。株式会社たまより寄贈）



・茅ヶ崎市バス路線図の発行

➡ 路線バス、コミュニティバス、予約型乗合バスを同じ地図に載せることで最寄りのバス停を把握が可能となり、利便性が向上。（※3月発行。10,000部）

■課題

○路線バス、コミュニティバス、予約型乗合バスの役割周知
○予約型乗合バスのサービス水準見直し

■今後の取組予定

○コミュニティバスと予約型乗合バスの運行改善に関する協議を事業者と実施
○予約型乗合バスに関するアンケート調査を実施

低炭素まちづくりのリーディングプロジェクト③

将来像

② 高機能で環境負荷が少ないまちで暮らす！

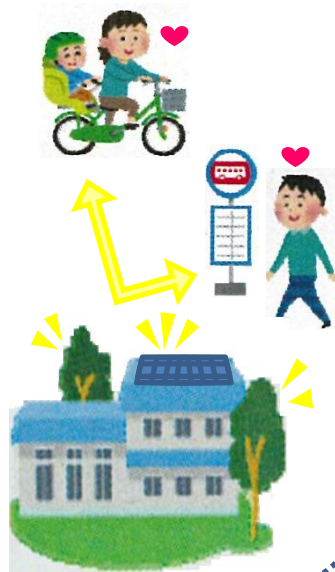
③ こころの低炭素化 プロジェクト

■概要

個々の建築物の低炭素化、環境にやさしい移動手段の選択、緑の創出の促進により、CO₂排出量の削減を図る。



なるべく高い環境性能を有する住まいで暮らすようにし、そして、そのような高機能な住まいから出かけるときに自家用車よりも、徒歩や自転車、公共交通を選択する暮らしへと、気持ち、こころの低炭素化を促進する。



■平成28年度の主な実施状況

・省エネ機器等の導入支援に関する情報提供（市HP、広報紙等）

➡ 各種支援事業により、個々の建築物の低炭素化・緑化を推進できた。

（住宅用太陽光発電設備設置補助事業（戸建て住宅）：交付件数55件
住宅用コージェネレーションシステム、

家庭用太陽熱利用設備導入支援補助事業：交付件数53件
生垣の築造助成：7件、新築記念樹配布事業：483本、等の実施。）

・低炭素まちづくりに関する啓発活動

（ちがさき環境フェア2016）

➡ 子供から大人まで気軽に遊びながら「低炭素まちづくり」について学べるツールを作成し、低炭素型ライフスタイルの周知を図ることができた。



エコまちすごろく➡



■課題

○個々の建築物の低炭素化、各交通手段の環境性能・経済性、みどりの景観改善・冷却効果等、低炭素型ライフスタイルの付加価値に関する啓発活動の検討

■今後の取組予定

○低炭素型ライフスタイルの啓発

○各種補助制度の継続的实施

低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト④

将来像

3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

④みんなの大切なみどりをまもる プロジェクト

■概要

現存するみどりの保全をはかり、CO₂吸収量を維持する。



民有地のみどりの維持管理手法や、地域の中、都市の中で
のあり方の検討。



■平成28年度の主な実施状況

- 保存樹林35件(約4.9ha)
保存樹木24件の助成を実施
(※前年度比 保存樹林：3件増、
保存樹木：増減なし)

➡ 市街地に残されたみどりの
保全に寄与。



■保存樹木（円蔵地内）

- 「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の見直し
(平成29年4月施行)
- ➡ 保存樹林の指定条件の緩和、市民緑地制度の導入等、
みどりの将来的な存続に向けた取り組みを推進した。

■課題

- 現行の保存樹林制度の問題点（相続を起因とする解除申請、
指定要件を満たす候補地の不在等）への対応
- 地域に親しまれる存在としての、みどりの役割向上のため
の手法の検討

■今後の取組予定

- 「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の運用に
よる、みどりの保全に向けた取り組みの推進
(市民緑地の指定など)
- 「茅ヶ崎市みどりの基本計画」の改定（平成30年度予定）
において、生活者に親しまれるみどりの保全に向けた取り
組みを検討

低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト⑤

将来像

③ みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

⑤ みんなでみどりを増やす プロジェクト

■概要

緑化を推進し、CO₂吸収量を上乘せする。



公共空間内におけるみどりの配置の推進。民有地内の緑化の促進。



■平成28年度の主な実施状況

- ・鉄砲道の街路樹リニューアル（雄三通り～一中通り）

➡ 公共空間内における歩きたくなるみどりを配置し、歩きたい空間の整備を推進した。

- ・生垣の築造助成（7件）
新築記念樹配布事業（483本）の実施
（※前年度比 生垣の築造助成：2件増、
記念樹配布：68本減）

➡ 民有地内でのみどりの創出に寄与。



- ・「茅ヶ崎市緑の保全及び緑化の推進に関する条例」の見直し（平成29年4月施行）

➡ 開発行為に伴う緑化基準の適用範囲を、共同住宅以外の500㎡以上の事務所・店舗等の建築行為に拡大し、みどりの創出する機会が増加。

■課題

○緑化の推進には、民有地の緑化が重要であるが、市民の理解を得ることが不可欠

■今後の取組予定

- 鉄砲道の街路樹リニューアルの推進（～平成30年度）
- 中央公園（平成29年度～）、新庁舎敷地内（平成30年度～）におけるみどりの創出
- 生垣築造助成、記念樹配布等の継続実施
- 新基準に基づいた、開発行為に伴う緑化義務の強化



※凡例 「・」：実施した内容 「➡」：実施したことによる成果

整備状況 <凡例> 平成28年度完了済 平成29年度以降予定

低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト⑥

将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善プロジェクト

■概要

三つの将来像の実現に向けた特に人々の移動由来のCO₂排出量の削減、みどりによるCO₂吸収量の確保を図る。



歩きやすくなるためのまち改善に向けた、モデル地区での取り組みの推進。

都市再生整備計画

地区名：茅ヶ崎駅周辺地区

計画期間：平成28年度～32年度

目標：環境に優しく豊かな生活が送れる
低炭素まちづくり

※国の支援制度を活用した取り組みの一体的な推進のため、「都市再生整備計画」を作成し、国土交通省の「都市再生整備計画事業」の採択を受けた（基幹事業6事業、国費率45%）。

■基幹事業
地域生活基盤施設
市役所前広場
0.8 ha



■基幹事業
地域生活基盤施設
公共サイン整備

図解サイン(○)
9箇所
同定・指示サイン(△)
13箇所



■基幹事業
公園 中央公園
4.0 ha



- ・トイレ施設整備(機能拡充)
- ・バリアフリー化整備
- ・自転車駐車スペース整備
- ・沿道ベンチ整備(外周歩道改良)
- ・水景施設整備
- ・備蓄倉庫整備
- など

○関連事業
住環境整備事業
茅ヶ崎市役所本庁舎建替え

■基幹事業
高質空間形成施設
地域生活基盤施設

駅前歩行者空間整備
駅前上屋整備
駅前広場整備

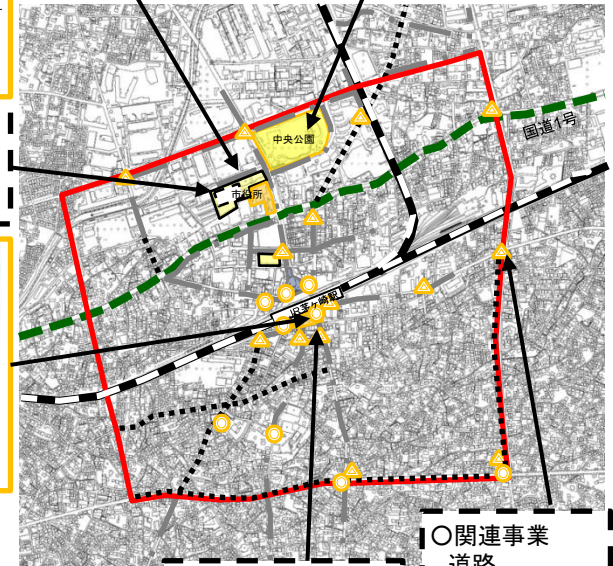


○関連事業
道路 (.....)
(歩行者・自転車走行空間整備)



○関連事業
道路
駅前ロータリー改良

○関連事業
道路
(交差点改良)
L = 58 m



低炭素まちづくりの リーディングプロジェクト⑥

将来像

- 1 歩きやすく、自転車が利用しやすい健康的なまちで暮らす！
- 2 高機能で環境負荷の少ないまちで暮らす！
- 3 みどり豊かで外出したくなるまちで暮らす！

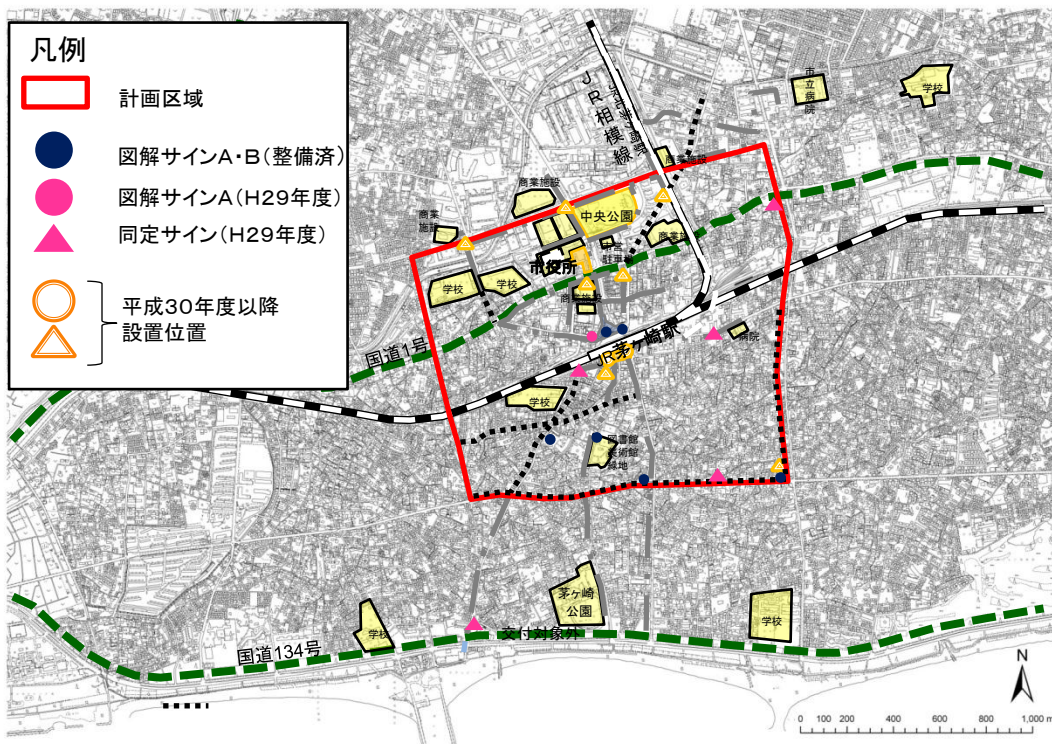
⑥20年後、もっと歩きやすくなるためのまち改善 プロジェクト

■平成28年度の主な実施状況

- ・歩きたくなる公共サインの整備
(市内6か所設置)
- ➡ わかりやすい案内表示にすることにより、誰もが歩いて移動してみたい、訪れてみたいと感じられるまちの整備が進んだ。



撮影 柳原美咲



■今後の取り組み（平成29年度）

都市再生整備計画(茅ヶ崎駅周辺地区)事業の推進

○中央公園：トイレ施設整備の詳細設計

○公共サイン：6か所(図解サイン 1か所、同定サイン 5か所)

※平成30年度以降は事業詳細は確定しだい報告いたします。